

花は早いとも遅いともいわず ただ咲く

家の中に置いてある植木鉢に、今冬の寒さにも負けず、元気良く長い葉を何本も伸ばしている植物があります。何の植物の葉かというと蔓珠沙華（彼岸花）の葉です。

関東以西では、名前の通りお彼岸の頃（ただし秋）によく見かける花です。

花の色は赤が多いように思いますが、他にも白や黄があります。

しかし、北海道では見たことがありません。

そこで、どうにかして北海道の我が家で咲かせて、久しぶりに花を見てみたいと思いい立ちました。

ちやうど、家内が西日本の出身なので、実家の義母にお願いして、昨年春に蔓珠沙華の球根を十株ほど送ってもらったのです。花の色は赤とのことでした。

早速にその球根を植木鉢に植えてみました。そうすると次から次へと元気に芽を出し始めました。

余りに多くの芽が出て来たため、植木鉢は混雑状態に。

そこで、半分は家の庭に移植して、早く花咲けと、花が咲いてくれるのを楽しみに待ちました。

ところが、どちらも葉はぐんぐんと伸びるのですが、肝心の花を咲かせる茎がちつとも出てきません。

とうとう、庭に移植した蔓珠沙華は、葉っぱだけのまま、雪の下

になってしまいました。

そして、家の中に置いてある植木鉢の蔓珠沙華は、花咲くことなく葉だけを元気に伸ばしているままなのです。

やはり、蔓珠沙華は、北海道の気候で花咲かせることは出来ないのでしょうか。

私の思いとは裏腹に、花咲く条件が揃わないと決して花は咲かないものです。自然の中でその条件をあるがままに受け入れて、逆らわずその条件の中で精一杯生きているのです。

それに対して、私たちはあるがままに受け入れられず、ああしたい、こうしたいと出来ないものを無理に変えようとして、思い悩み苦悩して生きています。

この春は本州の梅の花も例年よりも、だいぶ遅れて咲きだしたようですが、遅れたというのも、私たちの都合であって、梅の花は自然のままに咲くだけなのです。

